

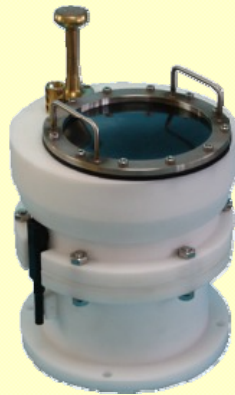
KOBANZAME-S

波高・波向・水位・酸素・流速・流向・水温・風速・風向

SM-501s

変化を見る
変化をとらえる
その感動を忘れないでほしい

WAVE HUNTER14-Σ
WH-503



KOBANZAME-S
SM-501s



9602 iridium module
by KDDI



見ながら取る。取りながら考える

衛星通信・制御装置(KOBANZAME-S)と、波高・波向・流速計(WAVE HUNTER)を中心とした、アイオーテクニクのWebワッチサービスは、時と場所を選ばず、現場の観測データをチェックできる海洋観測のネットワークサービスです。データを取る装置から、データを見る装置に変身しています。

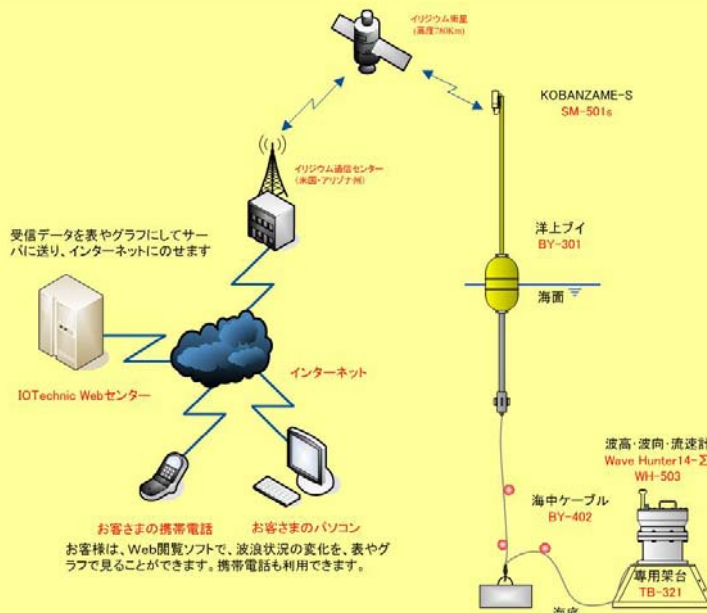
“脇役”です。“主役”はセンサー

アイオーテクニクは、海洋観測のデータプロバイダーとして、測定—収録—通信—Web管理—処理—グラフ・表の作成まで、独自のネットワークと技術で、一貫したきめ細かいサービスを提供できます。衛星通信・制御装置(KOBANZAME-S)は、その中核となる装置です。

特長

- * **KOBANZAME-S** は、従来の携帯電話や、モデムを利用した通信と異なり、イリジウム衛星を使用しています。地球単位で通信網を構築できます。
- * **KOBANZAME-S** は、WAVE HUNTERから受信したデータを、イリジウム衛星とインターネットを介して、お客様にメール(添付ファイル)で送ります。衛星データ通信・制御ソフト **PilotS**(別売)で、データをファイル化して保存します。
- * 処理結果表示ソフト(別売)は、表や経過グラフを作成し、パソコンに表示します。また、ウェブサーバーに表やグラフをアップロードする機能もあります。
- * ウェブサーバーが用意できない場合は、IOTechnic Webセンターで、処理結果表・グラフを、Webサイトに、アップロードするサービスも実施しております。お客様のパソコンや、携帯電話でデータを閲覧できます。(有料)
- * **KOBANZAME-S** は、3チャンネルの電圧入力(0~2.5V)が、汎用入力として用意されています。他の装置からのデータも扱えます。(オプション)

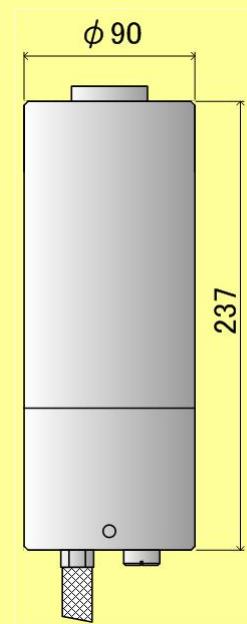
Webワッチサービス概要図 (イリジウム衛星使用)



インターネットエクスプローラーでの表示画面



外形図 (SM-501s)



KOBANZAME-S 構成・仕様

構成名称	型式	仕様概要
衛星通信・制御装置 (KOBANZAME-S)	SM-501s	通信モジュール:9602(IRIDIUM社製) 通信遅延:1分以内、 外形寸法:237L×90φ、重量:1.0 kg、材質:ジュロン
衛星通信・制御ソフト PilotS (別売)	RA-655	イリジウム衛星とデータ送受信を行います。270バイト/送信、340バイト/受信単位。また、メールサーバからの定期的なデータダウンロードを自動実行できます。
データ処理・通信ソフト MagiProcessorK(別売)	RA-652	WAVE HUNTERから受信した処理結果を表やグラフにして表示します。Webサーバへのアップロードもできます。Webワッチサービスなどのモニタリング観測が必要です。又、PilotSで受信した処理結果ファイルから表やグラフ作成し、Webにアップロードする機能が追加されています。
リチウムバッテリーパック(別売)	LB-530-3	3.6V 90AH